

スパークタイムズ



第2号

平成25年7月2日
市議会議員 坂澤博光

1 浅野市長の所信表明について

浅野市長は、6月の市議会定例で、「市民が幸福を実感できる街づくり」のため、①誇り、②やさしさ、③活気の三本柱に、ハード・ソフト両面から取り組むと表明しました。特に、日本人が「誇り」を無くしている今、「誇り」を取り上げたことに大賛成です。「誇りを取り戻す」ために、自治体の立場で、どのような方針や政策で推進するのか、注視していきたいと思えます。

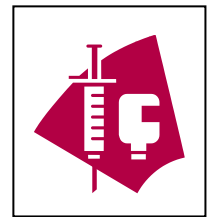
2 6月議会での一般質問

6月19日の一般質問において、約30分間、次のことについて質問しました。

(1) 予防接種費用を助成する際の基準について

ア、質問の主旨

- ・高齢者肺炎球菌ワクチンの接種費用8,000円、補助4,000円、自己負担4,000円に対し、風しん予防接種費用10,000円、補助8,000円、自己負担2,000円で、補助や自己負担額が一定ではありませんでした。
- ・予防接種を促すためには、接種費用を安価にするだけでなく、予防接種の周知、啓発、時間外・土日を含めた診療体制の整備などを効果的にする必要があります。補助には公平性、継続性、透明性が要求され、限りある財源を有効に活用するには、基準が必要です。
- ・ウイルス性感染症は、突発的に発生し急激に拡大する場合があります。議会の審議が受けられない場合でも、予防接種費用を安価にし、タイムリーに予防接種が受けられるように、補助の基準（手続きを含む）を定めておくことが必要だと思います。



イ、質問

予防接種費用を助成する際の基準を設定しては。

ウ、答

- ・予防接種には予防接種法に基づく定期接種とそれに基づかない任意接種があり、定期接種は全額公費負担、任意接種は全額個人負担が原則です。
- ・高齢者肺炎球菌ワクチンは、健康に与える影響や経済的負担が大きいため半額助成にしました。

風しんの予防接種は、全国的な流行を踏まえ、県が実施する接種促進緊急対策事業に合わせて実施するものであり、胎児に対する先天性疾患につながるという特殊性や、子育て世代に与える不安を考慮し、市独自で上乗せ助成を行うものです。

- ・任意接種に対する補助の必要性やその額については、流行の状況、疾病にかかった場合の重篤化、社会に与える不安感などを考慮して、総合的に判断すべきと考えています。

(2) 夏の巡回ラジオ体操について

ア、主旨

- ・ 50周年記念行事として、8月9日（金）早朝、夏期巡回ラジオ体操が計画されています。
- ・ 本計画を成功させるだけでなく効果的な体操技術の学びの機会にしたい。

イ、質問

夏期巡回ラジオ体操の概要と効果的なラジオ体操にするための方策は。

ウ、答

- ・ 8月9日（金）早朝6時から、市民公園をメイン会場とし約2,000名、市内子ども会235単位、約8,000名が市内各地の会場で参加する予定です。
- ・ 効果的な体操とするために小中学校では教員が指導していきます。
市民の皆様には、スポーツ推進委員の協力を得ながら、市民運動会などの準備運動として、地域ぐるみの普及促進を図っていきます。
また、市で開催するスポーツスクール種目の一つとして普及に努めてまいります。



3 調べたこと

市民税と並び関心の高い固定資産税及び都市計画税について調べてみました。

固定資産税及び都市計画税は、1月1日現在で所有している土地、建物、償却資産の課税標準額に税率（固定資産税：1.4%、都市計画税：0.3%）をかけて算出します。

土地、建物、償却資産の課税標準額は次のようになっています。（ ）内は都市計画税です。

(1) 土地（住宅用地には課税標準の特例が適用されます）

200㎡以下の住宅地：価格の1/6（1/3）、200㎡を超える住宅地：価格の1/3（2/3）

商業地等の宅地：価格の70%（70%）

(2) 建物

固定資産評価基準により、3年に一回、評価額を決定します。

新築後3年間、固定資産税額の2分の1が減額されます。

耐震改修、バリアフリー改修、省エネ改修し、条件に合致する場合、1年間、2分の1または3分の1、固定資産税が減額されます。

(3) 償却資産（都市計画税は課税されません）

取得金額に耐用年数に応じた原価残存率をかけて算出され、年数に応じて減額されます。